

十日町市こども計画

令和7（2025）年度～令和11（2029）年度



十日町市 PR キャラクター「ネージュ」



令和7年3月
新潟県十日町市

はじめに



わが国の出生数の減少は予測を上回る速度で進行しており、人口減少に歯止めがかかっていません。令和5年の出生数は72万7,277人、合計特殊出生率は1.20と過去最低を更新し、本市においても年々少子化が進み、令和4年の出生数は200人を割りました。少子高齢化社会が進行する中で、子育て世代にあっては、共働き家庭の増加、地域のつながりの希薄化、近年の物価高騰などによる精神的、経済的負担が増加し、さらには、こどもの貧困、ヤングケアラー、SNSの普及に伴うネットトラブルといった新たな問題など、こども・若者、家庭をめぐる様々な課題が深刻化しています。

これらに対応するため、国においては、こども施策を社会全体で強力に推進していくための包括的な法令であるこども基本法を令和5年4月に施行しました。さらに令和6年にはこども政策を総合的に推進するため、こども施策の基本的な方針等を定める「こども大綱」と「こども未来戦略」を策定し、すべてのこども・若者の権利が擁護され、将来にわたって幸せな状態で生活を送れることができる「こどもまんなか社会」の実現と子育て支援策の強化が進められています。

これまで本市においては、次世代を担うこどもが自分らしく、健やかに成長し、子育て家庭が子育ての楽しさや喜びを実感しながら、基本理念である「安心して子どもを産み育てられるまち」を目指し、子育て支援に取り組んできました。

これまでの施策を継承しつつ、こども基本法に定める市町村こども計画として、ここに令和7年度から令和11年度までを計画期間とする「十日町市こども計画」を策定いたしました。引き続き、基本理念を「安心して子どもを産み育てられるまち」として、地域社会全体でこども・若者と子育て家庭の支援、施策を計画的に推進するよう、全力で取り組んでまいります。

結びに、この計画の策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました十日町市子ども・子育て会議の委員の皆様をはじめ、アンケート調査等にご協力いただきました市民の皆様に心よりお礼を申し上げます。

令和7年3月

十日町市長 関口 芳史

目次

第1章 計画の策定にあたり

- 1 計画策定の背景と趣旨 1
- 2 計画の位置づけ 2
- 3 計画期間 2
- 4 計画の対象 3

第2章 十日町市のこども・子育てを取り巻く現状

- 1 統計データからみる十日町市の状況 4
- 2 アンケート調査からみる子育て家庭・こどもの状況 12
- 3 第2期子ども・子育て支援事業計画の達成度状況 22
- 4 課題と方向性 23
- 5 将来推計 24

第3章 計画の基本的な考え方

- 1 基本理念 26
- 2 基本目標 27
- 3 施策の体系 28

第4章 子ども・子育て支援事業計画に関する事項

- 1 教育・保育等の提供区域の設定 29
- 2 教育・保育の量の利用希望の推計等 30
- 3 地域子ども・子育て支援事業の利用希望の推計等 33
- 4 教育・保育の一体的提供と体制の確保 37

第5章 こども・子育て支援施策の展開

- 1 施策の体系 38
- 2 事業の展開 40

第6章 計画の達成に向けて

- 1 計画の推進体制 54
- 2 計画の進行管理 55

資料編

- 十日町市こども計画の策定経過 56
- 子ども・子育て、こどもアンケート調査結果 57
- 母子保健計画に係る成果指標の現状 66
- 十日町市の教育・保育施設等一覧 68
- 十日町市子ども・子育て会議委員 71
- 十日町市子ども・子育て会議条例 72